

日経平均株価の構成銘柄入れ替えなどについて

日本経済新聞社は日経平均株価の構成銘柄について、以下のとおり入れ替えを実施します。今回の入れ替えは、共同持ち株会社化や被合併で2銘柄が3月下旬に上場廃止となることに伴う措置です。

1. 除外銘柄

現構成銘柄である「帝国石油(1601)」が国際石油開発との共同持ち株会社設立により、同じく「トーマン(8003)」が豊田通商との合併により、それぞれ3月28日に上場廃止となるため、同日から両銘柄を除外します。

2. 補充銘柄

銘柄入れ替えルールに則り、除外銘柄の事業を継承する銘柄を採用します。

トーマンに替えて合併存続会社である「豊田通商(8015、みなし額面は50円)」を3月28日から、帝国石油に替えて共同持ち株会社である「国際石油開発帝石ホールディングス(1605、みなし額面は50000円)」を上場翌日の4月4日から採用します。3月28日から4月3日までの5営業日は22銘柄で日経平均株価を算出します。

なお、帝国石油、トーマンは日経株価指数300(日経300)の構成銘柄でもあるため、日経300は両銘柄を3月28日に除外し、「ユニー(8270)」を同日から、国際石油開発帝石ホールディングスを4月4日から採用します。この間、日経300は299銘柄で算出します。(豊田通商は日経300の現構成銘柄です。)

また、日経平均株価の構成銘柄である「日本たばこ産業(2914)」、「ヤフー(4689)」の株式分割が予定されています。日経平均株価の算出に際しては、当該権利落ち日である3月28日から、みなし額面をそれぞれの分割比率に合わせて、日本たばこ産業(1株を5株に分割)は50000円から10000円に、ヤフー(1株を2株に分割)は25000円から12500円に変更することで、指数算出に用いる株価の水準が分割前後で変わらないように調整対応します。2005年6月7日付け公表の「大型の株式併合に対する措置」に準じた取り扱いであり、当該株式分割に伴う除数変更は発生しません。日経500種平均株価も同様に対応します。

以上